



MUSASHINO
B A N K

2007.3

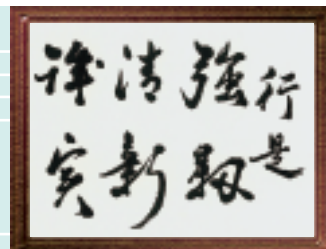
ミニディスクロージャー誌

武蔵野銀行

(平成19年3月31日現在)



名 称	株式会社 武蔵野銀行 The Musashino Bank,Ltd
本店所在地	さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8
ホームページ	http://www.musashinobank.co.jp
設立	昭和27年3月6日
ネットワーク	営業店舗数 90か店 (県内88、県外2)
	住宅ローンセンター数 10か所
	店舗外ATM数(拠点数) 110か所
	ATM・CD設置台数 453台
従業員数	1,914名
総資産	33,108億円
預金残高	29,650億円
貸出金残高	24,515億円
資本金	457億円
発行済株式数	34,455,456株
自己資本比率	10.51%



【行是】

昭和47年に制定された行是は、「強靱(強く、粘り強いこと、日常の鍛錬と合理性・団結を伴うもの)」、「清新(新しい感覚と創造力、積極性をもって行動)」、「誠実(公共的使命を認識し地域と大衆に奉仕せよ)」の3つの言葉で、当行役職員の精神の基本となっている。

武蔵野銀行グループ

武蔵野銀行グループは、当行、グループ会社7社(連結子会社)で構成し、銀行業務を中心に銀行事務の代行業務、リース業務などの金融サービスに係る事業を行っています。

- ぶぎんビジネスサービス株式会社……銀行事務代行業務
- ぶぎん保証株式会社……個人向け融資に係る信用保証業務
- ぶぎん総合リース株式会社……総合リース、ファクタリング、営業資金の貸付業務
- むさしのカード株式会社……クレジットカード(JCB、VISA)、金銭の貸付、信用保証業務
- ぶぎんシステムサービス株式会社……コンピュータシステムの開発、販売、保守管理業務
- 株式会社ぶぎん地域経済研究所……県内経済・産業の調査研究、経営・税務等の相談、各種セミナーの開催
- 株式会社ぶぎんキャピタル……ベンチャー企業への投資、経営相談

目次 CONTENTS

プロフィール	1	内部管理体制	10
ごあいさつ	2	コーポレート・ガバナンス体制、勧誘方針	10
経営方針	3	県民の皆さまとともに	11
経営理念、中期経営計画	3	埼玉県の特性	11
業績ハイライト	4	県民の皆さまへの貸出金	12~14
業績のポイント、資産運用、資金調達、預り資産	4	地域経済活性化のために	15~16
損益、自己資本比率、経費、格付け	5	県民の皆さまからの預金・預り資産	17~18
不良債権の状況	6	より便利にご利用いただくために	19~20
単体決算の概要	7	社会貢献活動	21
連結決算の概要	8	お知らせ	22
収益体系図	9		

※本誌に掲載の計数は、単位未満を切り捨ての上表示しています。

皆さま方には、平素より武蔵野銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび当行は、私どもに対するご理解をより一層深めていただくとともに、平成18年度における営業の概況や、地域貢献に関する取組みの状況等ができるだけわかりやすくお知らせするため、本冊子を作成いたしました。皆さまのご参考になれば幸いに存じます。

当期は、前中期経営計画「JUMP UP 21」の最終年度にあたり、計画目標の達成に向け全力で取り組みました結果、貸出金残高は、2兆4,515億円で前年比1,834億円増加、年率にしてプラス8.1%となりました。これは地方銀行64行のうち、年率順位では第2位、増加順位では第7位であり、地銀トップクラスの好調な伸びを示しました(※)。

預金、預り資産についても堅調な伸びとなっており、このことから18年度決算については、本業部門の収益力を示すコア業務純益、最終利益である当期純利益ともに、5年連続して最高益を更新いたしました。

さて、19年度は、新中期経営計画「VALUE UP 21」をスタートさせました。新たな価値創造に向けた3年間と位置づけ、「営業体制の抜本的改革」、「人財・組織の活性化」、「経営品質の高度化」を最重要課題として取り組んでまいります。この計画が目指す「お客さま満足度No.1銀行」、「県民のベストリテールバンク」として、埼玉県内で確固たる経営基盤を築けるよう、グループ役職員一体となって努力していく所存です。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

(※)19年3月31日現在(ニッキンデータより)

いつも、
武蔵野銀行をご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。



頭 取 黒 克 明

19年6月

経営理念

- 「地域共存」……豊かな地域社会の実現に寄与し、地域とともに発展します。
 「顧客尊重」……変化を先取りした果敢な経営を展開し、組織を挙げて最良のサービスを提供します。

当行は、「地域共存」、「顧客尊重」を永遠の経営理念に掲げ、平成19年4月には新中期経営計画「VALUE UP 21」をスタートさせました。基本方針・基本戦略で掲げた課題と計画目標の達成に向けて、全力で取組んでまいります。

中期経営計画「VALUE UP 21」（19年4月～22年3月）

目指す銀行像

「お客さま満足度No.1銀行」、「県民のベストリテールバンク」

基本方針

お客さま満足度No.1銀行を追求 持続的成長戦略を展開 スリムで強靱な企業体質を構築

県内における存在感の確立

収益向上

企業価値向上に向けた好循環サイクル

お客さまからの支持拡大
(取引シェア拡大)

お客さま満足度向上

基本戦略

営業体制の抜本的改革 人財・組織の活性化 経営品質の高度化

目標とする指標

	コア業務純益	経常利益	当期純利益	コアROA	ROE	コアOHR	自己資本比率	不良債権比率	分配可能額
18年度実績	235億円	183億円	117億円	0.72%	7.45%	59.92%	10.51%	2.75%	461億円
21年度目標	285億円	235億円	140億円	0.75%	7.3%	55%	10%以上	1%台	770億円

用語解説

コア業務純益 ……銀行の本業（資金の運用、手数料等）から得られた利益のこと。
 コアROA ……利益を総資産で除して求める収益性の財務指標で高い方がよい。
 ROE ……株主資本に対する純利益の比率のことで、株主資本をもとに当行が1年間に上げた収益を知る指標で高い方がよい。
 コアOHR ……業務粗利益に対する経費の割合のことで、営業の効率性（利益をあげるためにどのくらいの経費をかけているか）を示す指標で低い方がよい。

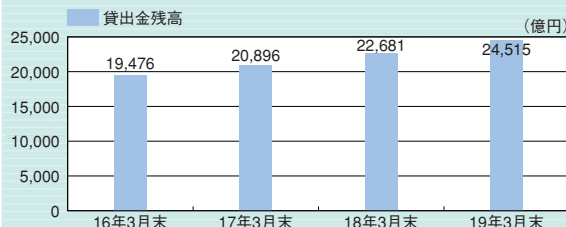
18年度は、前中期経営計画「JUMP UP 21」の最終年度にあたり、全店一丸となって計画目標の達成に向け全力で取り組みました結果、経営の健全性が向上し、営業基盤の拡充を図ることが

できました。これもひとえにお取引先の皆さまのご支持と高い信頼によるものと受け止めています。
主な業績は、次のとおりです。

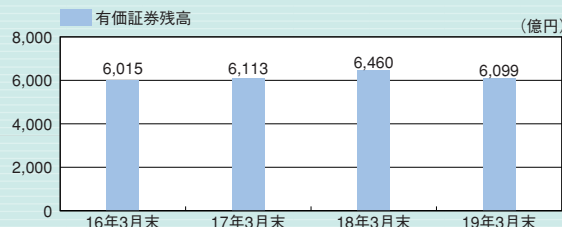
業績のポイント

- ①貸出金残高は2兆4,515億円となり、前年比年率8.1%、1,834億円増加しました。
- ②預金等残高は3兆336億円となり、前年比年率4.8%、1,380億円増加しました。
- ③自己資本比率は、10.51%となり、前期比0.3%上昇しました。
- ④不良債権比率は2.75%となり、前年比0.46%低下しました。
- ⑤経常利益は4年連続、コア業務純益、当期純利益は5年連続で最高益を更新しました。

資金運用

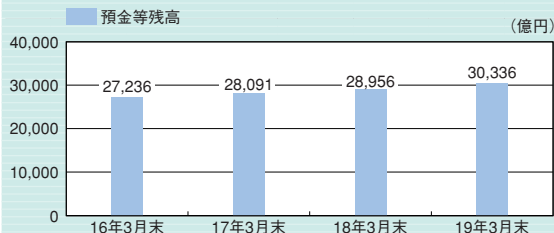


法人新規開拓や住宅ローンの積極推進などにより、地域経済の発展にお役に立てるよう円滑な資金供給に努めました結果、19年3月末の貸出金残高は、2兆4,515億円となり、前年比8.1%、1,834億円増加しました。



19年3月末の有価証券残高は6,099億円となり、前年比361億円減少しました。

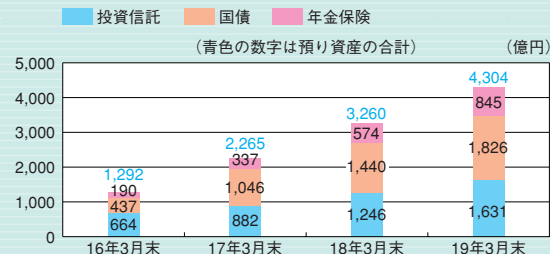
資金調達



地域に密着した営業活動に努めました結果、19年3月末の預金等残高は前年比4.8%、1,380億円増加し、3兆336億円となりました。毎年着実に増加しています。

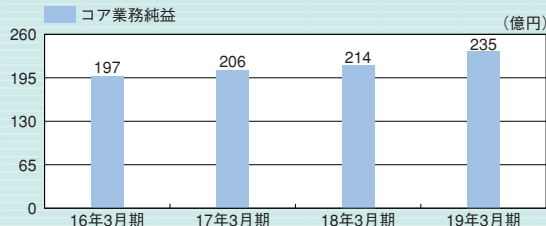
※預金等は、預金に譲渡性預金を加えたもの。

預り資産

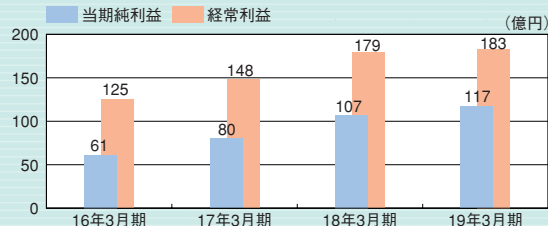


19年3月末の預り資産残高は、前年比32.0%、1,044億円と大幅に増加し、総額4,304億円となりました。投資信託、国債、年金保険ともに堅調な伸びを示しています。

損 益

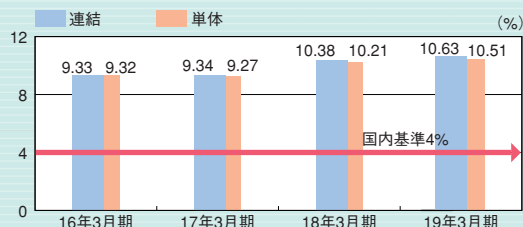


本業の収益力を示すコア業務純益は、貸出運用力の強化や投信・保険等の役務利益の増強に努めました結果、19年3月期は前年比21億円増加し235億円となり、5年連続の過去最高益更新となりました。



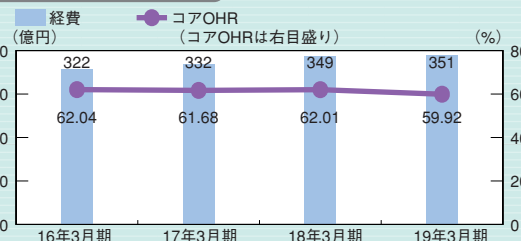
不良債権処理費用や経費が増加しましたが、コア業務純益の増加に加え株式関連収益の増益などから、経常利益は、前年比4億円の増益、当期純利益は前年比10億円の増益となり、それぞれ過去最高益更新となりました。

自己資本比率



銀行の安全性を示す指標の一つ自己資本比率は、単体自己資本比率が10.51%、連結自己資本比率が10.63%と、国内だけで営業する銀行に必要な4%の基準を大きく上回る水準にあります。

経 費

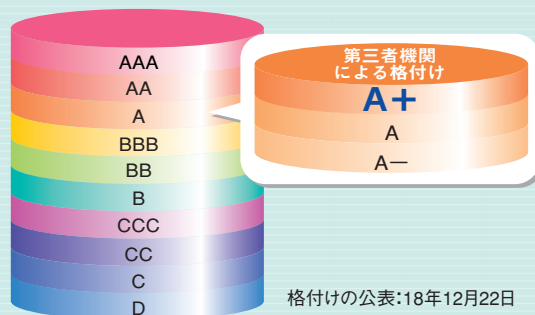


経費は、システム共同化への移行を主な要因として、全体で2億円増加しました。営業の効率性を示すコアOHRは、前年比2.09%低下し、59.92%となりました。

格付け

「格付け」は、当行が発行する長期優先債務や社債等の払戻しの確実性を利害関係のない第三者が評価し、その結果を記号で表した投資家向けに提供される情報です。当行では平成18年12月に日本格付研究所から、「長期優先債務」に対する格付が「A+」（シングルAプラス）、また、個別債務の評価として、「第1回期限前償還条項付無担保社債（劣後特約付）」に対する格付が「A」（シングルAフラット）として据置かれることが公表されました。

当行の格付「A+」（シングルAプラス）は、同社の格付等級の10段階中、上から3番目に当たり「債務履行の確実性が高い」という「投資適格」の評価です。



資産の自己査定と不良債権

■ 減少する不良債権

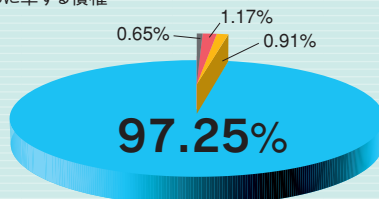
当行は、年2回貸出金等の資産価値を自己査定し、5段階に分類するとともに、ご返済の可能性等に応じて不良債権処理に備え貸倒引当金を積立て引当処理を実施しています。19年3月末実績は、破産更生債権及びこれらに準ずる債権が前年比34億円増加しましたが、危険債権が10億円、要管理債権が79億円それぞれ減少したため、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権、要管理債権などいわゆる不良債権残高は、前年比55億円減少し、682億円となりました。

■ 金融再生法に基づく開示債権

(億円)

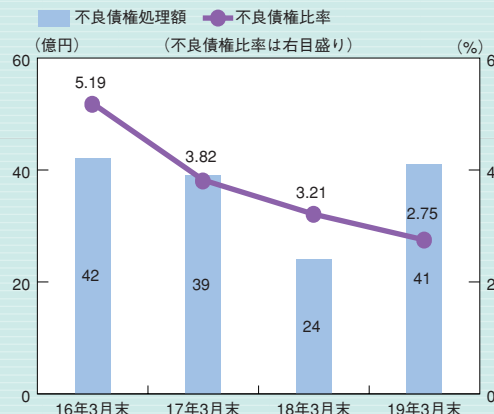
	18年3月末	19年3月末	増 減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	129	163	34
危険債権	302	292	△10
要管理債権	306	227	△79
小計(不良債権)	737	682	△55
正常債権	22,211	24,111	1,900
合 計	22,949	24,793	1,844

■ 破産更生債権及びこれらに準ずる債権 ■ 危険債権 ■ 要管理債権 ■ 正常債権



■ 進む不良債権処理

平成19年3月末の不良債権比率は、0.46%低下の2.75%となり、資産の健全化が一段と進みました。



用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の理由により、経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻までには至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約どおりに債権の元本及び利息の回収ができない可能性のある債権です。

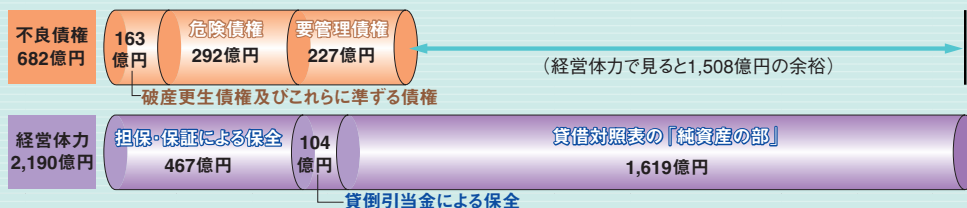
要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く、3か月以上延滞している債権及び貸出条件を緩和している債権です。

不良債権への備え

平成19年3月末の不良債権682億円に対する備えでは担保・保証467億円、貸倒引当金104億円の571億円が担保され、保全率は83.7%の実績です。

残りの111億円は直に保全が必要な債権ではなく、仮に全額追加負担となっても、自己資本で処理できるだけの十分な経営体力を有しています。



貸借対照表

(百万円)

科 目	18年3月期	19年3月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	135,315	121,080
コールローン	1,258	30,712
買入金銭債権	17,127	23,281
商品有価証券	561	638
金銭の信託	1,500	1,500
有価証券	646,020	609,932
貸出金	2,268,117	2,451,532
外国為替	1,701	1,731
その他資産	16,241	27,993
動産不動産	35,629	—
有形固定資産	—	33,454
無形固定資産	—	3,333
繰延税金資産	5,107	4,775
支払承諾見返	25,064	15,260
貸倒引当金	△15,334	△14,362
資産の部合計	3,138,309	3,310,864
(負債の部)		
預金	2,880,664	2,965,047
譲渡性預金	15,040	68,574
コールマネー	8,222	10,388
債券貸借取引受入担保金	2,928	—
借入金	27,951	14,919
外国為替	167	128
社債	—	18,000
その他負債	12,390	43,585
賞与引当金	1,316	1,314
役員賞与引当金	—	56
退職給付引当金	5,533	5,723
役員退職慰労引当金	—	302
再評価に係る繰延税金負債	5,655	5,642
支払承諾	25,064	15,260
負債の部合計	2,984,936	3,148,944
(資本の部)		
資本金	45,743	—
資本剰余金	39,439	—
資本準備金	38,351	—
その他資本剰余金	1,088	—
利益剰余金	46,709	—
利益準備金	10,082	—
任意積立金	25,019	—
当期末処分利益	11,607	—
土地再評価差額金	6,971	—
株式等評価差額金	14,670	—
自己株式	△162	—
資本の部合計	153,373	—
負債及び資本の部合計	3,138,309	—
(純資産の部)		
資本金	—	45,743
資本剰余金	—	39,440
資本準備金	—	38,351
その他資本剰余金	—	1,089
利益剰余金	—	56,367
利益準備金	—	10,087
その他利益剰余金	—	46,279
自己株式	—	△207
株主資本合計	—	141,344
その他有価証券評価差額金	—	13,409
繰延ヘッジ損益	—	210
土地再評価差額金	—	6,956
評価・換算差額等合計	—	20,576
純資産の部合計	—	161,920
負債及び純資産の部合計	—	3,310,864

損益計算書

(百万円)

科 目	18年3月期	19年3月期
	金 額	金 額
経常収益	64,788	72,340
資金運用収益	51,821	55,950
(うち貸出金利)	(43,059)	(46,081)
(うち有価証券利息配当金)	(8,561)	(9,449)
役務取引等収益	9,679	10,368
その他業務収益	1,523	2,402
その他経常収益	1,763	3,618
経常費用	46,857	54,010
資金調達費用	2,082	4,747
(うち預金利息)	(862)	(2,888)
役務取引等費用	4,167	4,259
その他業務費用	1,899	2,792
営業経費	35,972	35,839
その他経常費用	2,735	6,371
経常利益	17,930	18,329
特別利益	600	597
特別損失	239	391
税引前当期純利益	18,290	18,536
法人税・住民税及び事業税	3,477	6,310
過年度未払法人税等戻入額	—	△566
法人税等調整額	4,076	1,033
当期純利益	10,735	11,758

株主資本等変動計算書

(百万円)

	株 主 資 本					
	資本金	資 本 剰 余 金			利 益 剰 余 金	
		資本準備金	その他 資本剰余金	合 計	利益準備金	その他 利益剰余金
前事業年度末残高	45,743	38,351	1,088	39,439	10,082	36,627
当事業年度変動額	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	△2,064
役員賞与	—	—	—	—	—	△57
当期純利益	—	—	—	—	—	11,758
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	1	1	—	—
土地再評価差額金取崩額	—	—	—	—	—	15
合併による増加	—	—	—	—	5	—
株主資本以外の項目の	—	—	—	—	—	—
当事業年度変動額(純額)	—	—	—	—	—	—
当事業年度変動額合計	—	—	1	1	5	9,652
当事業年度末残高	45,743	38,351	1,089	39,440	10,087	46,279

(百万円)

	株 主 資 本			
	利益剰余金 利益剰余金合計	自己株式	株主資本 合計	評価・換算 差 額 等
前事業年度末残高	46,709	△162	131,730	21,642
当事業年度変動額	—	—	—	—
剰余金の配当	△2,064	—	△2,064	—
役員賞与	△57	—	△57	—
当期純利益	11,758	—	11,758	—
自己株式の取得	—	△47	△47	—
自己株式の処分	—	2	3	—
土地再評価差額金取崩額	15	—	15	△15
合併による増加	5	—	5	—
株主資本以外の項目の	—	—	—	—
当事業年度変動額(純額)	—	—	—	△1,050
当事業年度変動額合計	9,657	△44	9,613	△1,066
当事業年度末残高	56,367	△207	141,344	20,576

■連結貸借対照表

(百万円)

科 目	18年3月期	19年3月期
	金 額	金 額
(資産の部)		
現金預け金	136,257	122,141
コールローン及び買入手形	1,258	30,712
買入金銭債権	17,127	23,281
商品有価証券	561	638
金銭の信託	1,500	1,500
有価証券	647,741	612,878
貸出金	2,256,520	2,440,258
外国為替	1,701	1,731
その他資産	46,308	57,249
動産不動産	37,011	—
有形固定資産	—	34,458
無形固定資産	—	3,352
繰延税金資産	7,795	7,599
支払承諾見返	25,064	15,260
貸倒引当金	△18,898	△18,509
投資損失引当金	△0	△0
資産の部合計	3,159,949	3,332,553
(負債の部)		
預金	2,876,447	2,961,412
譲渡性預金	12,040	65,574
コールマネー及び売渡手形	8,222	10,388
債券貸借取引受入担保金	2,928	—
借入金	40,471	27,593
外国為替	167	128
社債	—	18,000
その他負債	24,959	55,226
賞与引当金	1,414	1,408
役員賞与引当金	—	77
退職給付引当金	5,571	5,763
役員退職慰労引当金	—	302
利息返還損失引当金	—	26
再評価に係る繰延税金負債	5,655	5,642
支払承諾	25,064	15,260
負債の部合計	3,002,942	3,166,804
(少数株主持分)		
少数株主持分	2,518	—
(資本の部)		
資本金	45,743	—
資本剰余金	39,439	—
利益剰余金	47,825	—
土地再評価差額金	6,971	—
株式等評価差額金	14,670	—
自己株式	△162	—
資本の部合計	154,488	—
負債・少数株主持分及び資本の部合計	3,159,949	—
(純資産の部)		
資本金	—	45,743
資本剰余金	—	39,440
利益剰余金	—	57,470
自己株式	—	△207
株主資本合計	—	142,447
その他有価証券評価差額金	—	13,409
繰延ヘッジ損益	—	210
土地再評価差額金	—	6,956
評価・換算差額等合計	—	20,576
少数株主持分	—	2,724
純資産の部合計	—	165,748
負債及び純資産の部合計	—	3,332,553

■連結損益計算書

(百万円)

科 目	18年3月期	19年3月期
	金 額	金 額
経常収益	76,781	84,337
資金運用収益	52,224	56,314
(うち貸出金利息)	(43,450)	(46,414)
(うち有価証券利息配当金)	(8,572)	(9,471)
役務取引等収益	10,483	11,207
その他業務収益	2,150	3,046
その他経常収益	11,923	13,768
経常費用	57,950	65,400
資金調達費用	2,258	4,905
(うち預金利息)	(862)	(2,886)
役務取引等費用	3,552	3,629
その他業務費用	1,899	2,792
営業経費	36,335	36,269
その他経常費用	13,903	17,802
経常利益	18,831	18,936
特別利益	605	475
特別損失	241	391
税金等調整前当期純利益	19,196	19,200
法人税、住民税及び事業税	3,882	7,279
過年度未払法人税等戻入額	—	△566
法人税等調整額	3,975	330
少数株主利益	517	217
当期純利益	10,821	11,759

■連結株主資本等変動計算書

(百万円)

	株 主 資 本			
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式
前連結会計年度末残高	45,743	39,439	47,825	△162
当連結会計年度変動額	—	—	△2,064	—
剰余金の配当	—	—	△64	—
役員賞与	—	—	11,759	—
当期純利益	—	—	—	△47
自己株式の取得	—	1	—	3
自己株式の処分	—	—	—	—
土地再評価差額金取崩額	—	—	15	—
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)	—	—	—	—
当連結会計年度変動額合計	—	1	9,645	△44
当連結会計年度末残高	45,743	39,440	57,470	△207

	評価・換算差額等				少数株主 持 分	純資産 合 計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	土地再評価 差 額 金	評価・換算 差額等合計		
前連結会計年度末残高	14,670	—	6,971	21,642	2,518	157,007
当連結会計年度変動額	—	—	—	—	△3	△2,068
剰余金の配当	—	—	—	—	△8	△73
役員賞与	—	—	—	—	175	11,934
当期純利益	—	—	—	—	—	△47
自己株式の取得	—	—	—	—	—	3
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
土地再評価差額金取崩額	—	—	△15	△15	—	—
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額(純額)	△1,261	210	—	△1,050	42	△1,008
当連結会計年度変動額合計	△1,261	210	△15	△1,066	205	8,740
当連結会計年度末残高	13,409	210	6,956	20,576	2,724	165,748

■連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

(百万円)

科 目	18年3月期	19年3月期
	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△6,550	△59,873
投資活動によるキャッシュ・フロー	△32,308	42,855
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,084	2,778
現金及び現金同等物の増加額	△19,775	△14,239
現金及び現金同等物の期首残高	154,616	134,841
現金及び現金同等物の期末残高	134,841	120,601

業績ハイライト

プロフィール

ごあいさつ

経営方針

業績ハイライト

内部管理体制

県民の皆さまとともに

お知らせ

業 務 粗 利 益

資金運用収益 559億円

事業性貸出金、住宅ローンなどの利息や
有価証券の利息・配当金等

資金調達費用 47億円

普通預金、定期預金等の各種
預金に支払う利息等

役務取引等収益 103億円

投信、国債等の販売や振込・ATMご利用
等で当行が受け取る手数料等

役務取引等費用 42億円

他行ATMのご利用等で他行
に当行が支払う手数料等

その他業務収益 24億円

国債等債券の売却益や償還益、外国為
替売買益等

その他業務費用 27億円

国債等債券の売却損や償還
損等

業務粗利益569億円

① 資金運用収支 512億円

+

② 役務取引等収支 61億円

+

③ その他業務収支 △3億円

コア業務純益／業務純益

業務粗利益 569億円

債券5勘定戻 △18億円

債券関係キャピタル益

経費 351億円

人件費・物件費・税金

一般貸倒引当金繰入 △1億円

コア業務純益 235億円

業務純益 218億円

経 常 利 益

業務純益 218億円

臨時収益 36億円

株式売却益等

臨時費用 71億円

不良債権処理損、株式売却損、株式償却等

経常利益 183億円

当 期 純 利 益

経常利益 183億円

特別利益 5億円

特別損失 3億円

法人税等 57億円

法人税等調整額 10億円

当期純利益 117億円

当行は、社会の一員として、地域社会との良好な関係を保ちながら持続的に発展を続けるため、コーポレート・ガバナンス（企業経営

に不正行為がないことをチェックする機能)の充実、コンプライアンス(法令遵守)の徹底など内部管理体制の強化に努めています。

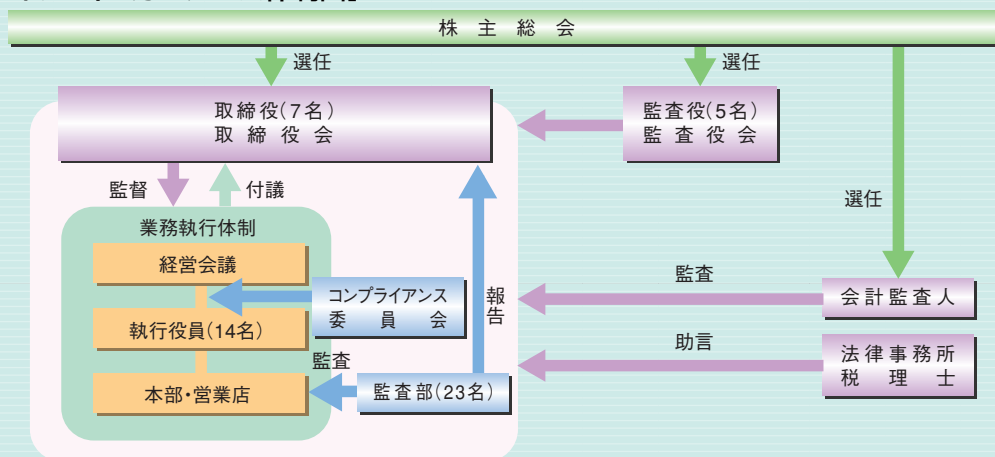
コーポレート・ガバナンス体制

当行では、コーポレート・ガバナンスを経営上の重要課題と認識し、法令、行内規程を遵守しつつ、取締役会及び監査役会において、取締役の職務の執行について厳正な監視を行っています。また、執行役員制度により、経営と業務執行の役割分担を明確化し、

取締役と執行役員がそれぞれ責任を持って業務を行う体制としています。経営の観点からもコンプライアンス全般を評価し、社会規範に則した誠実、公正で透明性の高い企業活動を実現するため、コンプライアンス委員会を設置し、半期に一度、コンプライアンスに係る推進施策、コンプライアンス体制などについて審議しています。

「コーポレート・ガバナンス体制図」

(19年3月31日現在)



お客さまへの商品勧誘にあたって

役職員がお客さまへの勧誘を行う場合に遵守すべき5つの基本方針（勧誘方針）を制定し、誠実、適正な営業活動を行っています。

1. お客様の知識、経験や保有資産の構成などを勘案させていただいた上で、お望みの目的にかなうと判断される金融商品をお勧め致します。
2. 最終的にはお客様自身のご判断でお取引をいただくため、商品内容やリスク内容など重要な事項を十分ご理解いただけるよう、説明に努めます。
3. 断定的な判断を申し上げたり、事実でない情報を提供するなど、お客様の誤解を招くような勧誘は行いません。
4. お客様にとって不都合な時間帯やご迷惑な場所などで勧誘を行うことは致しません。
5. これらの勧誘方針に沿った適正な勧誘を行うために、研修体制の充実や行内ルールの整備に努めます。

県民の皆さまとともに

当行は、円滑な資金供給と金融サービスの提供という銀行の本来業務を通じて、地域社会の発展に貢献していくことが、社会的使命と考えています。

こうした認識のもと、当行では自らが掲げる経営理念に従い、お

客さまにご満足いただける総合金融サービスの開発・提供と地域の皆さまからのご理解と信頼を得られますよう、さまざまな取組みについて情報開示を進めていきます。

埼玉県の実性

■ 埼玉県の伝統工芸品・特産品

埼玉県は、かねてより江戸という大都市をひかえ、華やかでありながら、確かな技術の工芸品・特産品が作られてきました。

現代にも伝わる「桃の節句」「端午の節句」の際には欠かせない、「雛人形」や「鯉のぼり」なども伝統工芸品として今に伝わる大切な技術です。



張子だるま (越谷市)



鯉のぼり (加須市)



武州正藍染 (羽生市)



足袋 (行田市)



桐箆簞 (春日部市)



五家宝 (熊谷市)



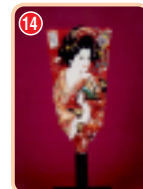
秩父ぼぐし捺染 (秩父市)



小川和紙 (小川町)



本庄餅 (本庄市)



押絵羽子板 (春日部市)



狭山茶 (狭山市・入間市)



雛人形 (鴻巣市・岩槻区・所沢市)



草加せんべい (草加市)



草加本染ゆかた (草加市)



飯能大島紬 (飯能市)

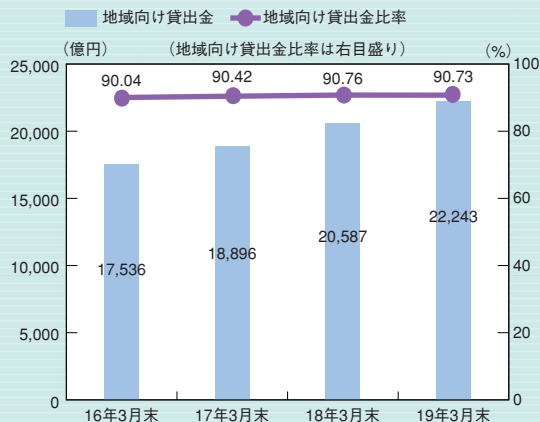
(写真提供:埼玉県、熊谷市、春日部市、草加市)

■ 埼玉県の主な経済指標等

	埼玉県	全国シェア	全国順位	調査時点又は期間
総面積	3,797km ²	1.0%	39位	平成17年10月1日
人口	707万人	5.5%	5位	平成18年10月1日
事業所数(民営)	238,628事業所	4.2%	6位	平成16年 6月1日
県内総生産(名目)	20兆5,153億円	4.0%	5位	平成16年度
製造品出荷額等(速報)	13兆7,881億円	4.7%	5位	平成17年
大型小売店販売額	1兆836億円	5.1%	5位	平成18年
乗用車新車登録台数	179,958台	5.8%	—	平成18年
新設住宅着工戸数	78,933戸	6.1%	5位	平成18年

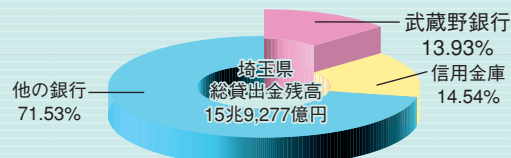
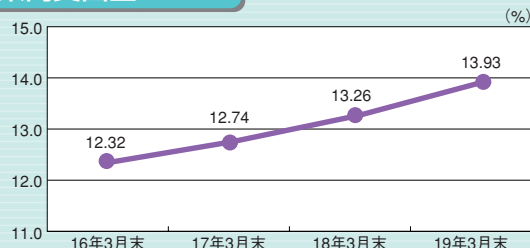
ぶざん地域経済研究所調べ。乗用車新車登録台数は、軽自動車を除く。

地域向け貸出金



事業性貸出金、個人ローンともにバランスよく増加した結果、19年3月末の地域向け貸出金残高は、前年比1,656億円増加し2兆2,243億円となり、地域向け貸出金比率は90.73%となりました。

県内貸出金シェア



出所：日本銀行調査統計局資料ほか
銀行は全店舗計（風地主義）、信用金庫は本店所在地ベース

地域向け貸出金が増加したことに伴い、19年3月末の埼玉県内の貸出金シェアは、前年比0.67%増加し、13.93%となりました。

業種別貸出金の内訳

〈地域向け貸出先数〉

個人 83,590先
製造業 4,982先
卸・小売業 4,304先
建設業 4,275先
各種サービス業 4,168先
不動産業 1,232先
その他 1,543先

〈地域向け貸出金残高〉

個人 9,591億円
製造業 2,582億円
卸・小売業 2,243億円
不動産業 2,351億円
各種サービス業 2,201億円
建設業 1,583億円
その他 1,686億円

業種別で見た当行の地域向け貸出金は、先数では個人が約8割を占めますが、残高では4割に止まり、製造業を含む5業

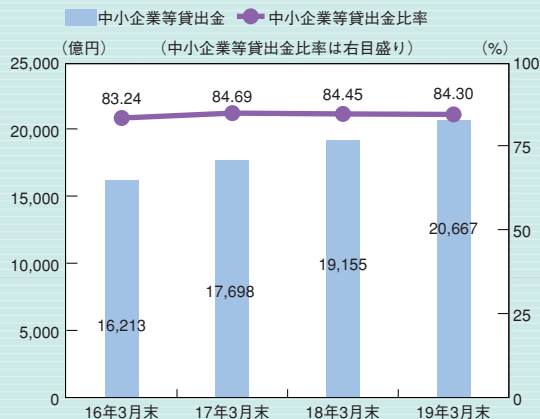
種が1割前後の残高を維持するなど、特定業種への偏重もなく、バランス良く分散されています。

業 種	貸出先数	(先・百万円)	
		うち地域向け	うち地域向け
製造業	5,048	4,982	288,529
農業	104	104	2,529
林業	2	2	132
漁業	—	—	—
鉱業	14	11	4,591
建設業	4,285	4,275	164,460
電気・ガス・熱供給・水道業	100	98	9,539
情報通信業	178	176	7,330
運輸業	1,072	1,060	81,769
卸・小売業	4,342	4,304	240,592
金融・保険業	80	47	59,744
不動産業	1,250	1,232	254,898
各種サービス業	4,198	4,168	240,220
地公体	45	45	72,446
国	1	—	62,887
その他(個人)	83,803	83,590	961,867
合計	104,522	104,094	2,451,533

※当行では「地域」について、埼玉県及び経済圏・生活圏等が重なる茨城県五霞町と位置づけています。

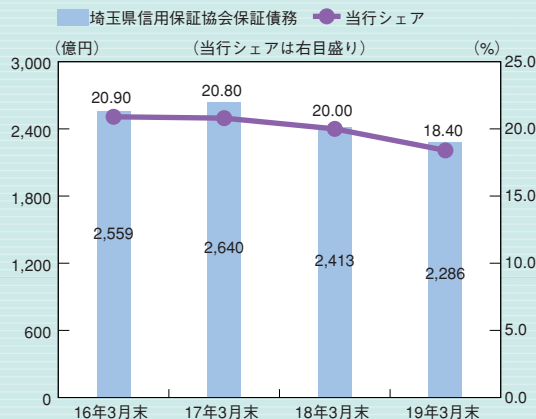
県民の皆さまとともに

中小企業等貸出金



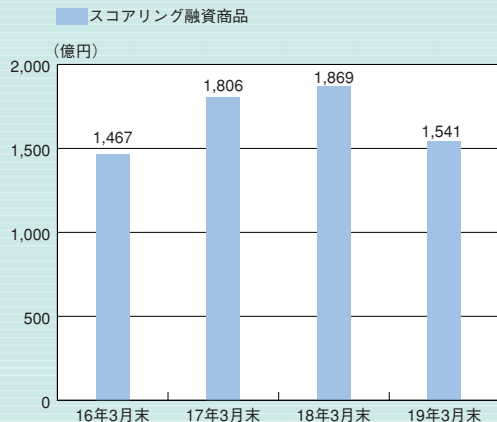
19年3月末の中小企業等に対する貸出金は、前年比1,511億円増加し、2兆667億円となりました。また、中小企業等貸出金比率は84.30%となりました。

埼玉県信用保証協会保証付債務



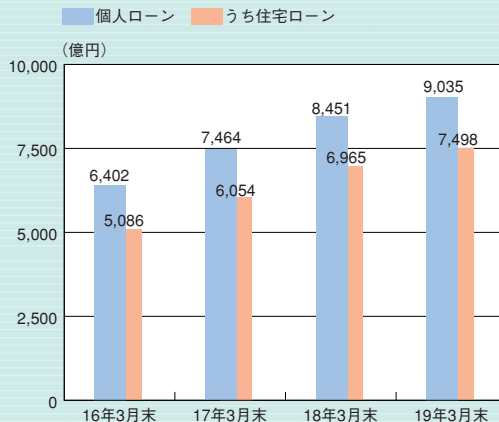
19年3月末の埼玉県信用保証協会の保証債務残高は、前年比127億円減少し、2,286億円となりました。また、当行シェアも前年比1.6%低下し、18.40%となりました。

スコアリング融資商品



スピード審査、無担保かつ第三者保証不要のスコアリング融資商品の19年3月末残高は、1,541億円となりました。

個人ローン



ガン保障特約付き住宅ローン、三大疾病特約付き住宅ローン、エコハウスローンなどの付加価値の高い住宅ローンの順調な増加などから、19年3月末残高は9,035億円となりました。

事業者の皆さま向け融資商品

商品名	特長	ご融資金額	ご融資期間	 (※)2年毎に当行及び埼玉県信用保証協会所定の継続審査がございます。
むさしの「二刀流」	金利を固定・変動から自由に選択できる商品です。	5億円以内	5年以上 20年以内	
Wスペシャルファンド	低金利が魅力な固定金利型の融資商品です。	3億円以内	7年以内	
むさしの「ビジネスカード」 —埼玉県信用保証協会保証付—	無担保、第三者保証人不要、カードローン形式の信用保証協会保証付スコアリング融資商品です。	2千万円以内	2年(※)	
むさしの 「スーパー企業力」	無担保、第三者保証人・保証料・事務手数料不要、スピード審査のスコアリング融資商品です。	2千万円以内	5年以内	
埼玉県事業資金 「中小企業応援貸付」 (スーパーサポート資金) —埼玉県信用保証協会保証付—	お取引のない方も対象となる無担保、第三者保証人不要の信用保証協会保証付のスコアリング融資商品です。	5千万円以内	5年以内	

個人の皆さま向けローン商品

商品名	特長	ご融資金額	ご融資期間	
むさしの住宅ローン	低金利が特徴な「大満足」シリーズから、エコハウスローン、輝家姫など付加価値住宅ローンまで、さまざまな選択肢をご用意しています。	5千万円以内	35年以内	
マイカーローン	お車の購入費用のほか、車検やお車の修理代、他社・他行からの借換にもご利用いただけます。ご利用期間中、車のトラブルに備えたロードサービスを無料でセットします。	500万円以内	7年以内	
奨学ローン	入学金や授業料はもちろん、教科書代や下宿代、留学費用まで、幅広くご利用いただけます。当行とのお取引内容により、最大年1%まで金利を優遇いたします。	500万円以内	11年6か月以内 (据置期間最長 4年6か月含む)	
カードローン 「むさしのモビット」	事業に関すること以外であれば、カード1枚で日本全国どこかのATMからでもご利用いただけます。	200万円以内	3年毎自動更新 (65歳まで)	
むさしのフリーローン 「まるごとバックワイド」	お使いみちは原則として自由。ローンやクレジットのおまとめにもご利用いただけます。	200万円以内	5年以内	
住宅ローン(証券化型)の取扱開始! 平成19年4月10日(火)、当行では、モルガン・スタンレー証券株式会社と、証券化スキームを活用した住宅ローンの取扱いについて提携し「住宅ローン(証券化型)」として取扱いを開始しました。 本商品は、従来の当行の住宅ローンではご要望におこたえできなかったお客さまにも住宅ローンをご利用いただくために、柔軟な基準(勤続年数が短い方など)を特徴としています。				

県民の皆さまとともに

産学官連携を支援

当行では、幅広いネットワークを活用し、“産”（企業），“学”（大学など），“官”（公的機関）の連携を支援しています。お客さまの技術相談や共同研究などのニーズに積極的にお応えすることで、埼玉県内の産業振興と地域活性化への貢献活動を推進しています。

なお、産学連携への取組みとして、東洋大学と埼玉工業大学と提携しており、今後も拡大していく予定です。

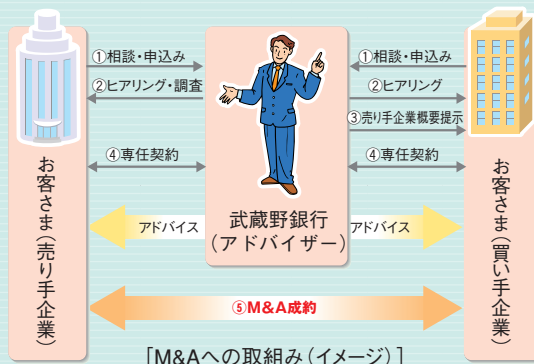


[埼玉工業大学への講師派遣]

M&Aニーズへの対応

事業承継（後継者不在）、業容拡大・多角化等、県内の中小企業の皆さまの、さまざまなM&Aニーズにお応えしながら、地域の中小企業の存続・成長と地域経済の発展に貢献しています。

平成19年4月13日（金）には、埼玉県税理士協同組合とM&A業務に関する業務協定を締結しました。



県内最大の展示商談会を開催

平成19年2月7日（水）、8日（木）、さいたまスーパーアリーナにおいて「彩の国ビジネスアリーナ2007」が開催され、350を超える企業等が参加し、約1万人のビジネスマンが集い、活発なビジネス交流が繰り広げられました。当行は主催者として参加企業の取次、当行ブースの出展、運営などを行いました。

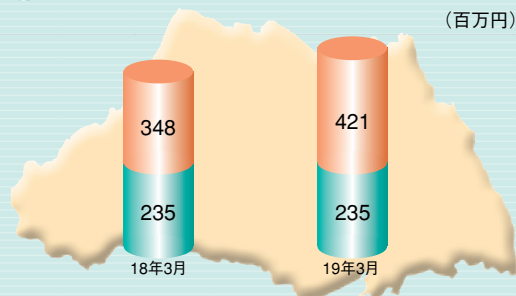


[「彩の国ビジネスアリーナ2007」当行ブース]

投資・融資でベンチャー・起業を応援

成長が見込まれるベンチャーや起業を資金面から応援する商品、「むさしの地域活性化ファンド」と「むさしのニュービジネスファンド」のご利用が増加しています。「むさしの地域活性化ファンド」は平成18年7月に第2号ファンドを組成し、平成19年3月末現在で合計19件421百万円の実績となりました。また、「むさしのニュービジネスファンド」は7件235百万円の実績となりました。

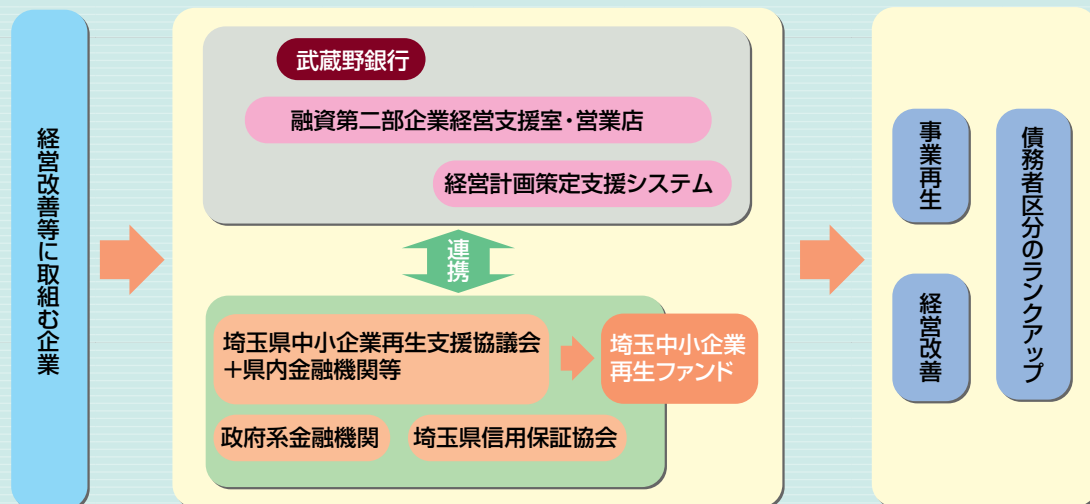
- むさしの地域活性化ファンド
- むさしのニュービジネスファンド



企業経営支援室による事業再生支援

融資第二部企業経営支援室と営業店は、お取引先企業の事業支援、再生支援のお手伝いをするため、フェースツーフェースでのコンサルティング活動を進めています。活動に当たっては、お客さまの今後の事業や財務の計画等を十分にお聞きしたうえで、経営計画策定支援システムにより、企業診断書や中長期・月次の経営計画書を策定し具体的な提案や必

要なアドバイスを行うとともに、お客さまと一緒に考え、改善策を見出すよう努めています。平成18年度までに経営計画支援システムによりご提案させていただいた件数は、2,242件となりました。また、平成17年11月に埼玉県中小企業再生支援協議会や県内金融機関等と連携して「埼玉中小企業再生ファンド」を総額30億円で組成しました。県民の銀行として企業再生の貢献期待にお応えしてまいります。



債務者区分のランクアップ活動の進捗

当行は、平成17年4月から「地域密着型金融推進計画」に基づき、財務内容の改善等による債務者区分のランクアップ活動を積極的に推進しています。

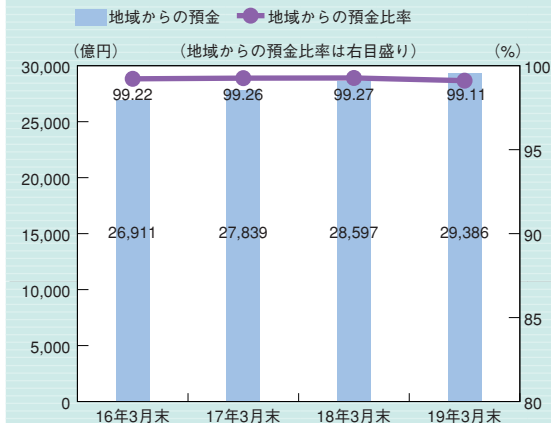
ランクアップとは、ご融資先を返済可能性等に応じて正常先、

要注意先、破綻懸念先、実質破綻先、破綻先の5段階に区分し、事業再生等により、上位ランクへ引上げることです。

当行では、15・16年度の2年間に328先の成果を挙げましたが、さらに17・18年度の2年間の実績は目標300先に対し317先で達成率106%となり、計画通り順調に推移しています。

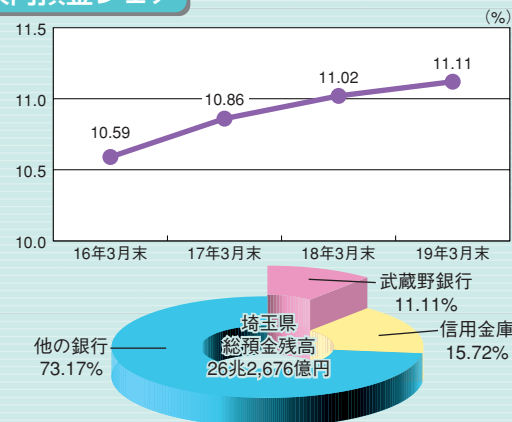
	17年度実績	18年度実績			17・18年度合計		
		計 画	実 績	達成率	計 画	実 績	達成率
ランクアップ先数	161先	150先	156先	104%	300先	317先	106%

地域からの預金



19年3月末の地域からの預金残高は、前年比789億円増加し2兆9,386億円となりました。この結果、地域からの預金比率は99.11%となりました。

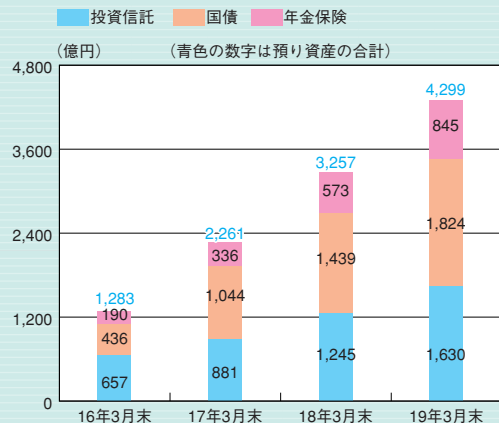
県内預金シェア



出所:日本銀行調査統計局資料ほか
銀行は全店舗計(属地主義)、信用金庫は本店所在地ベース

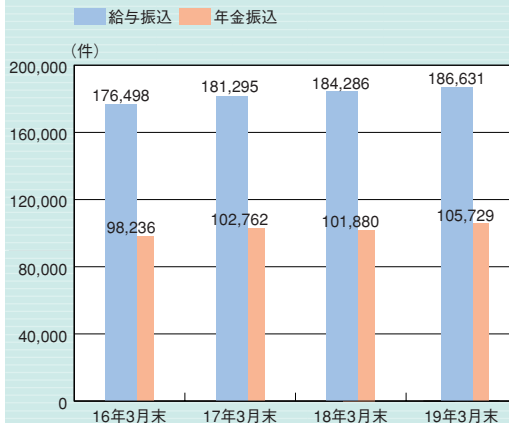
地域からの預金が着実に増加したことに伴い、19年3月末の埼玉県内の預金シェアは、前年比0.09%増加し、11.11%となりました。

地域からの預り資産



19年3月末の地域からの預り資産残高は、投資信託、国債、年金保険とともに順調に伸び、前年比1,042億円増加、4,299億円となりました。

給与振込・年金受取の口座ご指定状況



給与や年金などの振込口座として、多くのお客さまから当行の口座をご指定いただいています。給与振込は毎年着実に増加し、年金振込も10万件超を推移しています。

——お知らせ——

本ページに掲載されている「投資信託・個人年金保険の商品一覧」及び「証券仲介」業務と取扱店は、平成19年9月30日施行の「金融商品取引法」による広告等の規制に抵触するおそれがあることから削除させていただきました。

各商品・サービスについてのお問い合わせにつきましては、最寄りの営業店までご連絡をお願いします。

県民の皆さまとともに

各種ご連絡先窓口のお知らせ

お問合せの内容	電話番号等	受付時間帯
通帳・お届印・キャッシュカードの紛失、盗難	お取扱店	月～金 8:40～17:00
	048-647-0441	土・日・祝日 上記以外の時間帯
インターネットバンキングに関すること	☎0120-44-6340	月～金 9:00～17:00
各種預金商品、ポイントサービスに関すること	☎0120-18-6340	
各種個人ローン商品に関すること	☎0120-30-6340	
事業性融資商品に関すること	☎0120-22-6340	
外国為替相場、外貨預金等に関すること	☎0120-634-016	
個人年金保険、証券の取扱い、国債に関すること	048-641-6111	
投資信託商品に関すること	☎0120-6342-14	
創業、新事業に関する相談、確定拠出年金に関すること	048-641-6111	
ぶざん経営者クラブに関すること	048-647-8484	
エレクトロニック・バンキングサービスに関すること	048-648-5965	

住宅ローンセンター

営業時間 月～土 9:00～17:00

※日・祝日は、営業いたしていません。

大宮	当行大宮支店2階 ☎048-645-7720	朝霞	JR武蔵野線北朝霞駅前 ☎048-487-2614
大宮西口	桜木町ビル3階 ☎048-641-6155	所沢	当行新所沢支店2階 ☎04-2998-6441
南浦和	当行南浦和支店2階 ☎048-838-7533	南越谷	JR武蔵野線南越谷駅そば ☎048-985-6917
川口	JR京浜東北線川口駅そば ☎048-258-1533	熊谷東	当行熊谷東支店2階 ☎048-527-6091
川越	当行川越南支店2階 ☎049-248-2391	久喜	当行久喜支店2階 ☎0480-21-6181

法人向け事務所

太田オフィスでは、群馬県太田市を中心とするエリアの法人のお客様からのご融資に関するご相談、取次ぎを専門に承っています。
なお、平成19年5月30日（水）には、埼玉県和光市に和光オフィスがオープンいたしました。

太田オフィス 東武伊勢崎線太田駅南口徒歩4分国道407号線沿い。太田市役所向かい。

☎0276-47-1211（月～金9:00～17:00）

和光オフィス 東武東上線と和光市駅南口徒歩1分。

☎048-462-8451（月～金9:00～17:00）

ビジネスローンセンター

ビジネスローンセンターでは、融資業務経験の豊富な専任スタッフが、県内の中堅・中小企業の皆さまからの当行融資商品に関するご相談を承っています。

また、ダイレクトメールやテレマーケティングによる各種ご融資商品のご案内を行っています。

☎0120-22-6340（月～金9:00～17:00）



ATM・コンビニATMの利用時間帯、手数料

■当行ATM・CDをご利用の場合

■武蔵野銀行のキャッシュカードをご利用の場合

「お引出」「お振入」のお取引の都度、1件あたり以下の「ご利用手数料」が必要となります（無料時間帯を除きます）。「お預入」「残高照会」「暗証番号変更」等は無料でご利用いただけます。

また、「お振込」の場合には、別途「お振込手数料」が必要となります。

	7:00	8:45	9:00	14:00	18:00	19:00	21:00
月～金	105円		無料			105円	
土			無料		105円		
日・祝日	105円						

■提携金融機関（郵便局を含む）のキャッシュカードをご利用の場合

	8:00	8:45	9:00	14:00	17:00	18:00	21:00
月～金	210円		105円				210円
土			105円	210円			
日・祝日	210円						

お振込
手数料

現 金	3万円未満		3万円以上		キャッシュ カード	3万円未満		3万円以上	
	他 行 宛	420円	630円	他 行 宛		210円	420円		
	当 行 本 支 店	105円	315円	当 行 本 支 店		105円	210円		
	当 行 同 一 店	105円	315円	当 行 同 一 店		105円	210円		

(消費税を含みます)

■コンビニATM（イーネット、セブン銀行）をご利用の場合

		7:00	8:45	18:00	23:00
月 金	お預入	105円			
	お引出	210円	105円	210円	
	お振込	210円	105円	210円	

		9:00	14:00	21:00
土	お 預 入	105円		
	お 引 出	105円	210円	
	お 振 込	105円	210円	

		9:00	21:00
日・祝日	お預入	105円	
	お引出	210円	
	お振込	210円	

※お振込は、イーネットのみでお取扱しています。

インターネットバンキング

インターネット・携帯電話により各種サービスをご利用いただけます。

■主なサービス内容・ご利用時間

パソコン(法人向け)

サービス内容	TⅠ	TⅡ	TⅢ	ご利用時間帯		管理者承認時限
				月～金	土・日・祝日	
残高照会 入出金明細	○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	—
お振替 予約	○	リ	○	7:00～22:00	8:00～20:00	承認不要
				0:00～24:00		
お振込 (他行宛) 予約	○	リ	○	7:00～15:00	—	ご利用時間内いつでも可能 お振込指定日7:00まで
				0:00～24:00		
お振込 (当行宛) 予約	○	リ	○	7:00～22:00	—	ご利用時間内いつでも可能 お振込指定日7:00まで
				0:00～24:00		
各種料金の払込	○	○	○	7:00～22:00	8:00～20:00	承認不要
一括 伝送	総合振込	○	○			お振込指定日前営業日17:00まで
	絵与振込					お振込指定日3営業日17:00まで
	地方税納付			0:00～24:00		お振込指定日4営業日17:00まで
	口座振替					お振込指定日2営業日17:00まで
メッセージ通知	○	○	○	—	—	—

※日曜日の0:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。

※当座預金宛のお振込、当座預金からのお振込は、7:00～15:00となります。

・ご利用手数料 契約料金 5,250円

月間基本料金 TypeⅠ 1,050円、TypeⅡ 2,625円、TypeⅢ 3,150円

※利用口座1口座追加ごとに1,050円

お振込
手数料

	3万円未満	3万円以上	給与振込
他 行 宛	315円	525円	105円
当行本支店	105円	210円	無 料
当行同一店	無 料	無 料	無 料

(消費税を含みます)

パソコン(個人向け)・携帯電話

サービス内容	P	C	ご利用時間帯	
			月～金	土・日・祝日
残高照会				
入出金明細	○	○	0:00～24:00	
お振替	リアルタイム	○	7:00～22:00	8:00～20:00
	予約	○	0:00～24:00	
お振込 (他行宛)	リアルタイム	○	7:00～15:00	—
	予約	○	0:00～24:00	
お振込 (当行宛)	リアルタイム	○	7:00～22:00	—
	予約	○	0:00～24:00	
定期預金	リアルタイム	○	7:00～22:00	8:00～20:00
	予約	○	上記時間帯以外	
各種料金の払込			7:00～22:00	8:00～20:00
各種お振り上げ	○		0:00～24:00	
資料請求			0:00～24:00	

※日曜日の0:00～6:00は、メンテナンスのためご利用いただけません。

※当座預金宛のお振込は7:00～15:00となります。

・ご利用手数料 無料

お振込
手数料

	3万円未満	3万円以上
他 行 宛	210円	367円
当行本支店	105円	210円
当行同一店	無 料	無 料

(消費税を含みます)

県民の皆さまとともに

地方公共団体への積極的な協力

指定・指定代理金融機関等として、公金出納事務により、県民の皆さまにご利用いただいています。また、毎年、地方債の引受を通じて、学校・病院の整備、工業団地の造成など、社会資本の整備協力しています。



〔越谷レイクタウン（20年3月街開き予定）〕

文化・スポーツの支援活動

県内の文化・スポーツ活動が盛んになることを願い、毎年開催される大宮薪能や日本スリーデーマーチを応援しています。また、お祭りや行事への参加、ロビーを活用した作品展開催など、地域の皆さまとの関わりを大事にしています。



〔大宮薪能〕

教育支援活動

当行では、教育支援活動の一環として、地元小・中学生の職場見学や職場体験学習の受入などを行っています。



〔地元中学生の職場訪問に協力（新座南支店）〕

公益信託「むさしの緑の基金」で環境保全を支援

緑豊かな自然を次代に引き継ぐため、「むさしの緑の基金」による助成活動、緑のトラスト基金への寄託、国の分収育林制度への参加など、県内における自然環境保全活動に積極的に取り組んでいます。



〔19年度助成先「やまおやじの会」（クヌギ植樹祭）〕

キャッシュカードの安全対策を強化

当行では、偽造・盗難キャッシュカードによる不正な払戻し等、悪質な犯罪からお客さまの大事なご預金をお守りするため、全店にて「ICキャッシュカード」をお取扱いしております。平成19年1月には、個人のお客さまだけでなく法人のお客さま（営業性個人を含みます）にも、ご利用いただけるようになりました。

また、平成19年6月5日（火）には、指静脈認証方式による「むさしの生体認証機能付きICキャッシュカード」を導入いたしました。平成19年度中には、同カード対応のATMを全店に配置いたします。

**キャッシュカードご利用につきましては、
お客さまも以下の点に十分ご注意ください。**

- ①暗証番号は、他人に類推されやすい生年月日、車両ナンバー、電話番号などの身近な数字をご利用されることはおやめください。
- ②暗証番号を類推できるものとキャッシュカードを、一緒に保管なさらないでください。
- ③カードを紛失された場合は、直ちに武蔵野銀行までご連絡ください。



盗難・紛失のご連絡先

月～金	8:40～17:00	お取扱店
土・日・祝日及び 上記の以外の時間帯		ATM監視センター、又は カード紛失受付共同センター ☎048-647-0441

通帳繰越記帳機の導入

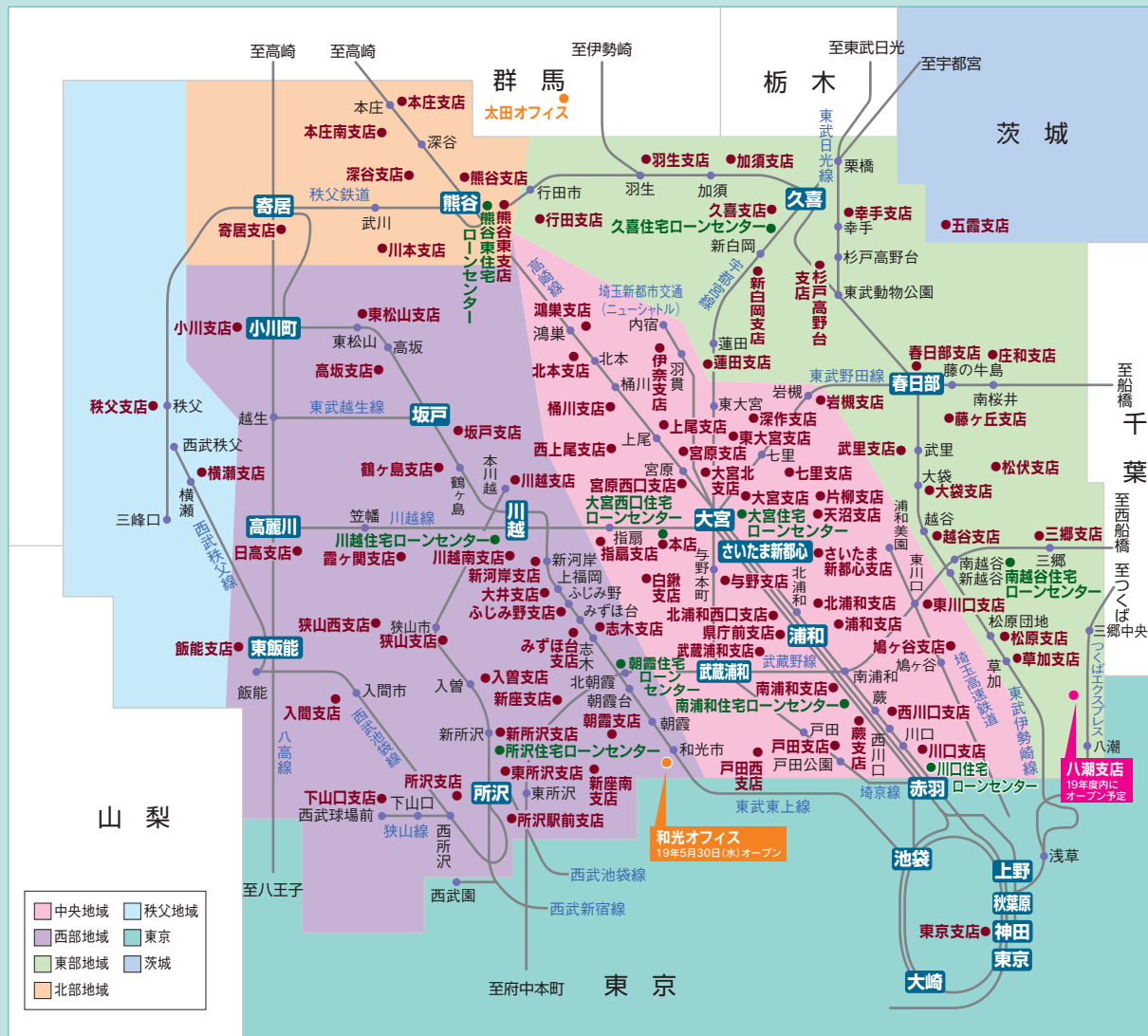
当行では、お客さまの利便性向上と、窓口やATMコーナーでの待ち時間短縮を目的として、「通帳繰越記帳機」の導入を開始し、平成19年6月15日（金）から、1年以内を目安として順次、設置店舗を拡大してまいります。ぜひご利用ください。

対象となる通帳	・総合口座通帳 ・普通預金通帳 ・貯蓄預金通帳 ・定期預金通帳 ・積立定期預金「しあわせ」通帳	
ご利用いただける方	個人のお客さま、法人のお客さま	
ご利用時間	月～金	7:00～21:00
	土・日・祝日	9:00～19:00

（※ただし、平成19年6月は月～金の9:00～17:00）



武蔵野銀行の店舗配置図



武蔵野銀行 ホームページ <http://www.musashinobank.co.jp>

〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町一丁目10番地8 TEL.048-641-6111 (代)

発行／平成19年6月 編集／武蔵野銀行 秘書広報部



このミニディスクロージャリー誌は古紙配合率100%再生紙を使用しています。また、環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。